

九月六日 久米島南方二十五哩近海ニハ魚群ヲ認ムルモ浮上セズ、折柄流木付ノ小判鯨ニ會ヒ三十尾ヲ釣獲シ、附近ニ漂泊ス。

九月七日 久米島三、四十哩近海一帯ニ魚群ヲ見ルモ浮上セズ。

九月八日 天候險惡トナリ那覇ニ歸港ス。

第十三航海

九月十二日 那覇出帆漁場ヘ向フ。

九月十三日 伊平屋附近ヲ探スモ鳥巻キダニ見ズ。

九月十四日 久米島西ニテ大判鯨ノ餌付ヲナスモ捕餌セズ

九月十五日 久米島附近ニテ大判鯨群ニ會シ六十一尾ヲ釣獲シ、餌盡キテ那覇ニ歸港ス。

鮪延繩漁業試験

一、趣 旨

本縣ニ於テハ鮪延繩漁業ハ最近ノ創業ニ屬シ未ダ不振ノ狀況ニアルモ沖合ハ鮪、旗魚、鰺等ノ漁場トシテ極メテ有望ナリト認ムルヲ以テ本試験ヲ行ヒ當業者ヲ指導誘掖セントス。

但シ本年度ハ暴風多ク加之船體修繕ニ時日ヲ要シ僅カニ二航海出漁、二回探査セルノミニテ充分ナル試験ヲナスニ到ラズ。

二、試験ノ方法

一、使用船

琉球丸

二、使用漁具

鮪延繩五十鉢

(イ) 一鉢構造

幹 繩

南京麻二分五厘、カッチ染、二百尋

枝 繩

南京麻二分五厘、カッチ染、長枝二十尋二本、短枝四尋四本 合間二十五尋

浮子 繩

南京麻二分五厘、カッチ染、十五尋二本

セキヤマ

麻心徑一分五厘、白、各枝四尋宛

釣元ワイヤー

最細十九本合セ、各枝三尺五寸宛

釣 鈎

丹吉白角四寸二分、六本

ボンテン

桐丸太徑四寸長サ三尺、各浮子繩ニ一本宛

ラインホーラー

一臺(マグドナルド式)

三、乗組員

十五名

三、經過

期間竝ニ航海數 自大正十五年十二月、至昭和二年二月、二航路

四、操業日誌

第一航海

大正十五年十二月十一日 横斷觀測ヲ終へ座間味港入港、餌料購入ノ約束ヲナス。

十二月十二日 餌料ぐるくん百九十二斤ヲ活ケ漁場へ向フ、午後四時久馬島 WSW 二十七湊沖ニ午後九時配繩ス、漁獲物皆無ニテ揚繩シ那霸ニ歸港ス、漁場天候 B 、風 WSW 、漁場水温二十一度七分、潮流 SW

第二 航海

昭和二年二月二十一日 那霸出帆慶良間阿護之浦ニ投錨、餌料購入ノタメ碇泊ス、天候險惡ナリ。

二月二十三日 天候恢復シぐるくん百三十五斤ヲ活ケ久米島近海へ向フ、天候險惡ナレバ久米島ニ避難ス、換水不充分ノタメ餌料魚斃死シ氷漬トナス。

二月二十五日 天候稍々平穩ニ向ヒテ出漁ス、久米島儀間港ヨリ WSW 二十湊ノ位置ニ於テ午前九時延繩シ午後六時半漁獲物全ク無ク揚繩終了ス、漁場天候 B 、風 WSW 、風力 3 、水温二十二度一、比重二五・二〇。

二月二十六日 那霸歸港。

瀬繩漁業試験

一、趣旨及方法

本縣ニハ姬鯛及笛吹鯛等ノ底魚鱈産スト雖モ其ノ漁法ハ一般ニ至ツテ幼稚ナリ故ニ本場ハ鯉、鯖、鯛漁業試験期間ニ於テ隨時琉球丸ニ割船二隻ポート一隻ヲ載セ母船式トシテ廣キ區域ニ互リ瀬物配繩漁業試験ヲ施行シ漁場ノ探究ヲ爲スト同時ニ斯業ノ範ヲ示シ以テ其ノ發展ヲ促進セントス。

二、試験及結果

本年ハ荒天續キニテ延繩回數少ク豫定ノ漁場ヲ充分ニ探査スルヲ得ザリシト雖モ、最近二、三年來繼續シテ試験セルタ